

5月議会がスタートし、市会の新体制が決定

第1回定例会市会5月議会が、5月26日から6月10日まで開かれました。この議会では市会の新体制を決定するとともに、議案などの審議を行い、市政全般に対する一般質問を行いました。
(市長提出21件、議員提出3件、合計24件)

5月26日の本会議では、正副議長の選挙が行われ、議長に菅野吉記議員(公明党)が、副議長に川内清尚議員(こうべ未来)が就任しました。また、6月6日の本会議で6つの常任委員会と3つの特別委員会の委員を選任し、市会の新体制を決定しました。(4面参照)

ごあいさつ



議長
すがの よしのり
菅野 吉記 議員

このたび、神戸市会議長、副議長に就任いたしました。
現在、我が国は気候変動による自然災害の頻発・激甚化や少子高齢化の進展に伴う人口減少などの課題に直面しており、神戸市においても同様です。

こうした中、神戸空港の国際化という新たなポテンシャルを活かし、神戸経済の活性化を図るとともに、新しい視点でのまちづくりに着実かつスピード感をもって取り組んでいく必要があります。

また、今年は阪神・淡路大震災から30年という節目の年です。神戸は震災を経験した都市として、震災の経験や教訓を風化させることなく、次の世代に継承していかなければなりません。

私ども議会といたしましても、二代表制における議会の使命を存分に発揮し、地方自治を支える議会・当局がそれぞれの役割を果たしながら、神戸市民のくらしの安心・安全を守るとともに、神戸がさらに魅力的なまちとなるよう積極的に取り組んでまいります。



副議長
かわうち きよなお
川内 清尚 議員

議決した主な議案

2025年度5月補正予算

- 米国の関税措置により影響を受ける市内事業者を支援します。
 - ・米国の関税措置による影響調査
 - ・小規模事業者への資金繰り支援

議員提出議案

- 意見書の提出
次の意見書を可決し、国に提出しました。
 - ・地方消費者行政の維持・強化のための施策を求める意見書
 - ・子供たちの豊かな教育環境をつくるための教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度の堅持等を求める意見書

人事案件

- 神戸市副市長および神戸市監査委員の選任に同意しました。

第1回定例会市会【5月議会】の動き

5/26	本会議 ○ 正副議長選挙
5/30	本会議 ○ 議会の委任に基づく市長専決処分などの報告 ○ 補正予算・条例改正などの議案の提案・質疑
6/2・3	常任委員会 ○ 補正予算・条例改正などの議案および 請願・陳情の審査
6/6	本会議 ○ 人事案件の提案・採決 ○ 関西広域連合議会議員などの選挙 ○ 補正予算・条例改正などの議案の討論・採決 ○ 請願の討論・採決 ○ 議員提出議案の提案・採決 ○ 特別委員会の報告 ○ 常任委員会・特別委員会・ 市会運営委員会の各委員選任
6/9・10	本会議 ○ 一般質問 ○ 閉会

4面でご紹介

2・3面でご紹介

次期市会は、第2回定例会市会【9月議会】の予定です。

会派構成

大井としひろ議員・川口まさる議員が「日本維新の会神戸市会議員団」を退会し、「躍動の会神戸市会議員団」を結成しました。

五島大亮議員が「自由民主党神戸市会議員団・無所属の会」を退会し、無所属となりました。

村上立真議員(無所属)が「自由民主党神戸市会議員団・無所属の会」に入会しました。

未来都市創造に関する特別委員会市民報告会を開催

5月22日に開催した市民報告会では、2024年度の委員会での活動状況について、議員から市民の皆さんに報告を行いました。

参加者の皆さんから事前にいただいたご質問やご意見に議員から回答するなど、議員の意見を直接聞いて、議会を身近に感じていただく機会になりました。



本会議での一般質問から

6月9日・10日の本会議では、一般質問が行われました。
その主な内容をご紹介します。

議員名（会派届出名の略称、選挙区）



6月9日



6月10日

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。

神戸市会 中継 | 検索

行財政

6月9日の一般質問から

3期12年の取り組みと今後の政策展開

Q 都心三宮の再整備や子育てしやすいまち日本一と評価される子育て支援強化などに手腕を発揮しているが、市政12年間の評価と今後の政策展開に関する見解を伺いたい。

ほう やすなが 議員
(自由民主党/北区)



A 都心三宮再整備や駅周辺リノベーションなど、都市の成長を促す好循環の創出に注力し、ホテルや住宅供給など民間投資が進んでいる。高校生の通学定期無償化や子ども医療費の外来助成拡大など子育て世帯に魅力ある施策にも全力で取り組んでいる。今後、施策展開の指針「神戸市基本構想」の実現のため、神戸らしさや神戸の可能性を最大限に活かし、持続可能な都市の実現に向け挑戦を続けたい。

6月10日の一般質問から

アジュール舞子の西側利便施設事業

Q アジュール舞子は地元住民と市との間でさまざまな議論の上で進められた事業であるにもかかわらず、西側利便施設の事業者募集では、住民の意見を聴くことなく事業者が選定された。住民との相互理解を深めながら、住民と協働で取り組んでもらうとともに、過去の経緯が確実に引き継がれる仕組みを検討されたい。

ほそや のりよし 議員
(公明党/垂水区)



A 今後、地元住民と丁寧な意見交換や協議のうえ相互理解を深め、豊かな緑地空間と静かな生活環境に配慮しながら協働で取り組んでいきたい。地元との取り決め文書を適切に管理・共有することの重要性を再認識しており、適切に引き継ぐ方法を検討したい。

6月10日の一般質問から

非正規職員雇用をやめ正規雇用に

Q 神戸市は、兵庫区役所や北神区役所の窓口業務委託料が高くなったため、直営に戻し業務の大半を非正規職員で対応することとした。非正規職員は低賃金でさまざまな権利も付与されていない。非正規職員の正規雇用化を進め専門性の維持と雇用の安定化を図るべきではないか。

まつもと のり子 議員
(日本共産党/東灘区)



A 人材確保が困難となることが想定される中でも、持続可能な自治体経営を行っていく必要がある。業務の内容や性質を踏まえ、任期の定めのない職員、専門人材としての任期付職員、会計年度任用職員とで役割を分担し業務を行うことで、市民サービスの向上や業務専門性の確保に努めていきたい。

教育・こども

6月9日の一般質問から

まちなか自習室

Q 中高生の自習スペース充実のニーズの高さを踏まえ、「まちなか自習室」の設置に取り組んでいるが、今後はどう事業を展開するのか。ぼらくる(※1)なども活用し、市場・商店街の空きスペースを自習スペースとして確保できれば、市場・商店街の活性化にもつながるのではないかと。

ひらの たつじ 議員
(自由民主党/兵庫区)



A 2025年度中に30カ所への自習スペース設置を目指しており、実施状況も踏まえてニーズに合った自習スペースの設置を進めたい。ご提案の市場・商店街の活用は、実施の申し出があれば、立地や利用できる時間帯など中高生が利用しやすいかという視点を踏まえながら、具体的に検討したい。

6月9日の一般質問から

小中学校の規模適正化

Q 人口減少に伴って小規模校が増加しており、2024年度時点では小規模の小学校が55校、中学校が19校となっている。学校規模の適正化にどのように取り組んでいくのか。また、根拠のない統廃合の噂が一人歩きしている学校もあると聞いたので、進め方などをしっかり広報し、発信していただきたい。

たかはし 高橋 としえ 議員
(日本維新の会/西区)



A 小規模校の規模適正化は喫緊の課題であると認識しているが、対策を強引に進めるのではなく、学校ごとの現状や課題を保護者や地域の方々との間で共有するところから始めている。子どもたちのより良い教育環境の実現に向けて、丁寧に取り組んでいきたい。

6月10日の一般質問から

子どもたちの教育環境の充実

Q 多くの学校の校内サポートルーム(※2)の開室時間は4時間で、児童生徒が必要とするタイミングで居場所を提供できていない状況もある。いつでも安心して行ける居場所を提供することが、多様な場所で学ぶ環境を整えることにもつながる。開室時間を拡充し、不登校傾向や情緒的不安を抱える児童生徒の受け皿を充実すべきではないか。

やの こうじ 議員
(こうべ未来/東灘区)



A 週20時間の支援員予算配分のため開室時間が4時間の学校が多いが、児童生徒の要望に応じて柔軟に対応しているケースもある。今後ニーズに合わせた予算の再配分や支援員の勤務条件の柔軟な設定、ボランティアの活用など工夫していく。

まち・くらし

6月9日の一般質問から

兵庫運河における取り組み

Q 兵庫運河は自然共生サイト(※3)に認定されるなど、地域資源として地元で親しまれている。2026年4月の環境学習施設の完成が兵庫運河の魅力発信や認知度向上の契機となり、環境学習の担い手の確保や企業との連携、さらには回遊性向上や観光振興にもつながるのではないかと。

ひらの たつじ 議員
(自由民主党/兵庫区)



A 環境学習の充実のため、活用可能な施設の整備や担い手の確保、企業への働きかけを進めたい。市内外問わず環境学習の参加者が増えるよう、修学旅行の一部に組み込む可能性も考えられるほか、学習以外でも施設を地域で気軽に利用できるよう工夫し、新たなにぎわいが生まれるようにしたい。

6月9日の一般質問から

西神中央駅周辺の地域資源活用策

Q 西神中央公園は駅から近く、豊かな自然の恵みを感じられる沿線屈指のポテンシャルを有するが、未利用地がありもったいないと感じる。例えば、カフェレストランや菜園、農産物のマルシェなどを整備し、「こうべアグリパーク(※4)」への誘導・連携機能も有する食・農・自然にスポットを当てた多世代向けの交流・体験施設を官民連携で整備できないか。

くろだ たけし 議員
(日本維新の会/西区)



A 公園のポテンシャルを活かすため、提案いただいたにぎわい施設などを整備することは一つの方策として有効と考える。地域住民の理解や周辺住環境への配慮、民間事業者の意向も踏まえ、実現可能性を検討していきたい。

6月10日の一般質問から

非核神戸方式と平和行政

Q 核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する市会決議に基づき、外国艦船の入港にあたっては、非核証明書を提出させ入港を認める非核神戸方式が続いてきた。しかし、2025年3月、神戸市は、非核証明書の提出なしでアメリカ艦船の入港を認めた。非核証明書の提出を求め、提出がなければ入港は拒否すべきと考えるが見解を伺いたい。

もりもと しん 議員
(日本共産党/長田区)



A 今回の入港に際しては、市会決議を踏まえ、外務省への文書照会および米国総領事との会談により、核兵器非搭載を確認したため入港を許可した。今後も市会決議を尊重し、これを踏まえながら適切に事務を執行していきたい。

福祉

6月9日の一般質問から

アウトドア・バリアフリー

Q 神戸には、障がいの有無にかかわらず、全ての人に野外活動への参加の機会を提供しようとする取り組みが根付いている。市内で活動しているアウトドア・バリアフリー（※5）を実践する団体やユニバーサルツーリズム（※6）に関わる団体を含めたコンソーシアム（※7）を創設してはどうか。

やまぐち ゆみ
山口 由美 議員
(自由民主党/西区)



A 神戸ならではの観光資源を活かしたユニバーサルツーリズムに取り組むため、今後はアウトドア・バリアフリーの情報も広く発信していく。また関係する団体が情報共有することで、さらなる連携による事業の広がりが期待できるため、意見交換の場を設けるなど各団体と相談しながら検討していきたい。

6月10日の一般質問から

民生委員・児童委員の活動

Q 地域活動の担い手不足や就労する高齢世代の増加、世代による認知度の差が要因となり、民生委員・児童委員の欠員状態が慢性的に続いている。制度を継続するには、若年層など幅広い世代に活動を知ってもらふ必要があると考えるが、なり手不足解消に向けてどのように取り組むのか。

いさやま だいすけ
諫山 大介 議員
(こうべ未来/灘区)



A 実費弁償額を政令市最高水準まで増額し処遇改善を行ったほか、業務の負担軽減など活動しやすい環境の整備に取り組んできた。活動の負担軽減と担い手確保のため、本市独自の民生委員支援員制度（※8）も設けている。民生委員活動に関心をもってもらえるよう、対応を強化していきたい。

防災

6月10日の一般質問から

災害時における情報共有体制の強化

Q 能登半島地震の教訓を踏まえ、要援護者支援にとどまらず、医療福祉行政の各現場が必要とする情報を、職種を超えて整理・共有できる体制の構築が急務である。先駆的に取り組もうとしている神戸市北区地域包括ケア推進総括協議会など関係者の意見を活かしつつ、行政が地域包括ケアの枠組みの中で、情報共有体制の整備とツール化を進めるべきではないか。

どうした とよじ
堂下 豊史 議員
(公明党/北区)



A 国で進められている災害時における情報管理のあり方の検討状況を注視するとともに、北区での取り組みを参考に、災害時における被災者支援が適切かつ迅速に行えるよう引き続き取り組んでいきたい。

6月10日の一般質問から

個別避難計画の実効性の確保

Q 各地域での避難訓練について、マンネリ化や参加率の低下が課題となっている。避難訓練を実施するにあたっては、これまで抜け落ちていた避難行動要支援者にも対応できるような実態に即した避難訓練を行うべきではないか。

とくやま としこ
徳山 敏子 議員
(公明党/北区)



A 地域によっては要援護者が参加しやすい工夫をし、実際に要援護者が参加した避難訓練を行っている例もある。個別事情などにより訓練への参加が難しい方も多くと推測されるが、要援護者自身が主体的に避難行動を取ることができるよう分かりやすい啓発を行うとともに、要援護者が参加しやすい防災訓練の研究を行い地域へ働きかけていきたい。

経済・観光

6月9日の一般質問から

旧居留地の歴史的建築物保全への取り組み

Q 旧居留地の神戸商船三井ビルが、維持管理費の増加が原因で2027年にも閉館すると報道されたが、他の歴史的建築物も老朽化が進行して同じ課題に直面する恐れがある。旧居留地の街並み維持は都市ブランド戦略としても重要であり、神戸市としてどのように関わっていくのか。

いわたに
岩谷 しげなり 議員
(日本維新の会/兵庫区)



A 神戸商船三井ビルについて、現時点では、閉館後もビルを活用することを念頭に置いて検討していると所有者から伺っており、率直な意見交換を重ねていきたい。旧居留地の街並みや景観を守り育てるため、歴史的建築物の維持に関する相談には支援制度を案内し、保全活用に取り組んでいく。

6月10日の一般質問から

次の神戸の基幹産業の育成

Q 市内経済の活性化は、雇用の創出、税収確保にもつながる重要な施策であり、新たな基幹産業が必要と感じている。市として、どのような産業の成長に可能性を感じ、その育成に向けてどう取り組んでいくのか。

かがわ しんじ
香川 真二 議員
(つなぐ/西区)



A 都市型創造産業（※9）の人材育成、マーケットの整備、産学官連携による取り組みのほか、スタートアップの育成支援に力を入れており、そこから、次世代を担う産業分野が生成されるのではないかと考えている。経済情勢が流動化する中、特定分野に特化することはリスクを伴うため、全天候型の産業構造という視点も入れ、次世代の産業のあり方を模索していきたい。

用語説明

- ※1 【ぼらくる】
神戸市が運営する、神戸市内のボランティア募集などを検索可能な情報サイト。空きスペースをまちなか自習室とするためには管理のための人材が必要となるが、その募集への活用が考えられる。
- ※2 【校内サポートルーム】
自分の学級に入りづらい児童生徒が、校内において安心して過ごすことができる場所。
- ※3 【自然共生サイト】
環境省が2023年度から認定している「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」。

- ※4 【こうべアグリパーク】
西区の旧農業公園を再整備し、「KOBE里山SDGsへの貢献」をコンセプトに、「神戸の農・食・里山」の恵みを体験・実感し、楽しみ・学び・交流できる施設として2025年4月にリニューアルオープン。
- ※5 【アウトドア・バリアフリー】
バリアフリーが難しいと思われる野外活動について、年齢や障がいの有無にかかわらず、全ての人に参加の機会を提供しようとする取り組み。
- ※6 【ユニバーサルツーリズム】
年齢や国籍、障がいなどの有無にかかわらず、全ての人々が安心して楽しめるように設計された旅行。ユニバーサルデザインの考え方を観光に当てはめたもので、誰もが気兼ねなく観光を楽しめるように環境を整備する取り組み。

- ※7 【コンソーシアム】
複数の企業や団体が、特定の目的を達成するために共同で事業を行う組織。単独では難しいプロジェクトなどについて、複数の団体が協力することで、より効果的に事業を進めることができる。
- ※8 【民生委員支援員制度】
高齢者見守りや地域活動など、民生委員・児童委員が行う活動を補助する人材を配置する制度。
- ※9 【都市型創造産業】
デザインや広告、ITといった情報サービスなど、既存産業の高付加価値化やイノベーションを誘発することができる産業分野。

市会議事堂ミニコンサートを開催



5月26日、市民の議会への関心を高め、「開かれた議会」を目指すとともに、神戸国際フルートコンクールをはじめとした「音楽のまち神戸」を推進するため、市会議事堂ミニコンサートを本会議場で実施しました。当日は、市議員をはじめとする本会議出席者や傍聴者が、神戸市室内管弦楽団の清水信貴さん（フルート）、萩原合歓さん（ヴァイオリン）、中島悦子さん（ヴィオラ）、山本彩子さん（チェロ）が奏でる音色に聴き入りました。



神戸市会の情報サイト「神戸市会ナビ」



神戸市会の役割や市議員の議会活動について、わかりやすく紹介しています。一般質問での発言内容もご覧いただけます。→





新しく決まった各委員会の委員 ()は定数

各議員の紹介を神戸市会ナビで
ご覧いただけます。→

常任委員会

【議員を6つのグループに分け、市の事業を分野ごとに審査する委員会】 ◎委員長 ○副委員長 議員名(会派届出名の略称、選挙区)

総務財政委員会(11人) 市の基本計画、地域活動、財政、監査などに関すること

◎吉田 健吾 自由民主党 灘区	○坂口 有希子 公明党 長田区	岩谷 しげなり 日本維新の会 兵庫区	黒田 武志 日本維新の会 西区	しらくに 高太郎 自由民主党 垂水区	河南 忠和 自由民主党 中央区
森本 真 日本共産党 長田区	大井 としひろ 躍動の会 須磨区	平野 章三 無所属 垂水区	よこはた 和幸 こうべ未来 中央区	吉田 謙治 公明党 西区	

建設防災委員会(11人) 公園、道路、上下水道、危機管理、消防などに関すること ※1名欠員

◎平野 達司 自由民主党 兵庫区	○かじ 幸夫 こうべ未来 西区	なんの ゆうこ 日本維新の会 東灘区	香川 真二 つなぐ 西区	上原 みなみ 無所属 北区
細谷 典功 公明党 垂水区	朝倉 えつ子 日本共産党 北区	住本 かずのり 日本維新の会 須磨区	高瀬 勝也 公明党 灘区	坊 やすなが 自由民主党 北区

教育子ども委員会(11人) 学校、子育て支援などに関すること

◎徳山 敏子 公明党 北区	○大かわら 鈴子 日本共産党 兵庫区	さとう まちこ 日本維新の会 垂水区	やの こうじ こうべ未来 東灘区	三木 しんじろう 日本維新の会 中央区	山下 てんせい 自由民主党 西区
西 ただす 日本共産党 東灘区	村野 誠一 新しい自民党 須磨区	山口 由美 自由民主党 西区	平井 真千子 自由民主党 長田区	壬生 潤 公明党 垂水区	

経済港湾委員会(11人) 観光、商工業、農漁業、港、空港、文化、スポーツなどに関すること

◎ながさわ 淳一 日本維新の会 長田区	○大野 陽平 自由民主党 東灘区	森田 たき子 日本共産党 西区	原 直樹 日本維新の会 垂水区	岩佐 けんや 公明党 東灘区	村上 立真 自由民主党 兵庫区
赤田 かつのり 日本共産党 垂水区	伊藤 めぐみ こうべ未来 北区	あわはら 富夫 つなぐ 中央区	松本 しゅうじ 自由民主党 須磨区	菅野 吉記 公明党 兵庫区	

福祉環境委員会(11人) 高齢者、地域医療、保健所、環境などに関すること

◎前田 あきら 日本共産党 須磨区	○浅井 美佳 自由民主党 灘区	宮田 公子 公明党 西区	味口 としゆき 日本共産党 灘区	外海 開三 日本維新の会 東灘区	高橋 としえ 日本維新の会 西区
岡田 ゆうじ 新しい自民党 垂水区	植中 雅子 自由民主党 北区	五島 大亮 無所属 北区	川内 清尚 こうべ未来 垂水区	堂下 豊史 公明党 北区	

都市交通委員会(10人) 都市計画、市営住宅、市バス、地下鉄などに関すること

◎諫山 大介 こうべ未来 灘区	○のまち 圭一 日本維新の会 中央区	木戸 さだかず こうべ未来 須磨区	萩原 泰三 公明党 中央区	川口 まさる 躍動の会 灘区
山本のりかず 日本維新の会 北区	上島 寛弘 自由民主党 東灘区	門田 まゆみ 公明党 須磨区	松本のり子 日本共産党 東灘区	坊池 正 自由民主党 西区

特別委員会

特定の事柄を審査するため、設置される委員会

◎委員長 ○副委員長 △理事

外郭団体に関する特別委員会(15人)

- ◎上 島 寛 弘
- 萩 原 泰 三
- △河 南 忠 和
- △さとう まちこ
- △赤 田 かつのり
- △かじ 幸夫
- 森 田 たき子
- なんの ゆうこ
- 岩 佐 けんや
- ながさわ 淳一
- 山 下 てんせい
- 徳 山 敏子
- 大 井 としひろ
- よこはた 和幸
- 平 井 真千子

大都市行財政制度に関する特別委員会(15人)

- ◎住 本 かずのり
- 植 中 雅 子
- △外 海 開 三
- △細 谷 典 功
- △前 田 あきら
- △諫 山 大 介
- 原 直 樹
- 木 戸 さだかず
- 浅 井 美 佳
- 大 野 陽 平
- 宮 田 公 子
- 門 田 まゆみ
- しらくに 高太郎
- 大 かわら 鈴子
- 村 野 誠 一

未来都市創造に関する特別委員会(15人)

- ◎壬 生 潤
- 高 橋 としえ
- △平 野 達 司
- △吉 田 謙 治
- △西 田 ただす
- △や の こうじ
- 岩 谷 しげなり
- の まち 圭 一
- 坂 口 有希子
- 香 川 真 二
- 村 上 立 真
- 伊 藤 めぐみ
- 吉 田 健 吾
- 森 本 真 真
- 山 口 由 美

市会運営委員会(12人)

議会運営を円滑にすすめるため、日程や議事の取り扱いなどを協議する委員会

◎委員長 ○副委員長△理事

- ◎高 瀬 勝 也
- 河 南 忠 和
- △高 橋 としえ
- △堂 下 豊 史
- △味 口 としゆき
- △伊 藤 めぐみ
- なんの ゆうこ
- 朝 倉 えつ子
- 三 木 しんじろう
- 植 中 雅 子
- しらくに 高太郎
- 壬 生 潤

兵庫県・神戸市調整会議委員(2人)

- 川 内 清 尚
- 菅 野 吉 記

阪神水道企業団議会議員(8人)

- なんの ゆうこ
- ながさわ 淳一
- 門 田 まゆみ
- 味 口 としゆき
- 植 中 雅 子
- しらくに 高太郎
- よこはた 和幸
- 堂 下 豊 史

監査委員(1人)

- 山 下 てんせい

関西広域連合議会議員(2人)

- 住 本 かずのり
- よこはた 和幸

広報委員会(6人)

◎委員長

- ◎平 井 真千子
- 上 島 寛 弘
- 外 海 開 三
- 高 瀬 勝 也
- 前 田 あきら
- 諫 山 大 介